「リアルTOWNうさ」ではイベントやグルメ、求人などさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください！

まちのできごとを写真とともにご紹介

# まちフォト

12/17 USA 魅力体験ツアー

## 宇佐の良さ新発見して笑顔の交流

院内のマチュピチュや石橋などを訪れ、市の魅力を体験してもらう「USA 魅力体験ツアー」が開催され、20 人が参加しました。市内には現在、30 を超える国や地域から 1,000 人以上の外国人住民が暮らしています。南院内さとづくり協議会によるおにぎりとだんご汁の振る舞いや竹細工の講習などで、１日有意義に過ごしました。参加者のグェン・ティ・トゥエンさんは「楽しくて、勉強になりました。日本の伝統や景色をいろいろ体験できました」と話していました。

12/3 うさ農業祭 2023

## 農業をもっとおしゃれに

宇佐文化会館の南側駐車場で、うさ農業祭 2023 が開催されました。会場では、農産物や餅の無料配布、焼酎のカクテルショーなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。また、若い世代に農作業へのイメージを変えてもらおうと、宇佐産業科学高校の生活デザイン科 16 人が作業着のファッションショーを開催。独自の作業着コーディネートに身を包み、ポーズを決めると、会場からは声援が上がっていました。

12/3 第７回宇佐神宮マラソン

## 紅葉残る宇佐神宮を駆ける

宇佐神宮およびその周辺で第７回宇佐神宮マラソンが開催されました。市内外から参加した約 640 人が紅葉の残るコースをそれぞれのペースで力走。沿道から地元のみなさんが声援を送りました。地元グルメの販売も行われ、会場を盛り上げました。北海道から参加した菅原満美子（まみこ）さんは「3 回目の参加ですが、宇佐神宮周辺の雰囲気が走っていて心地よかった」と話しました。

12/15 第２回あじむ寄席～安心院あたためる一席～

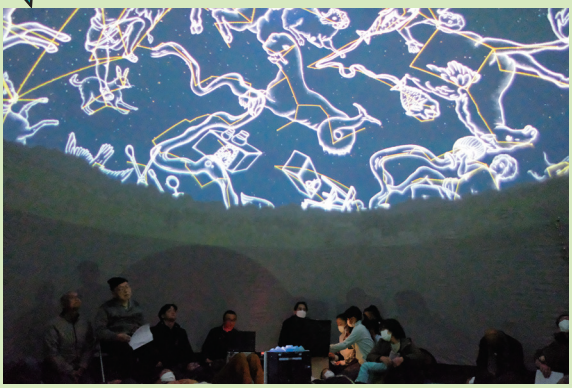
## 落語って奥が深くておもしろい

安心院支所の多目的ホールであじむ寄席が開催されました。安心院小中学校の子どもたちが参加して、江戸落語と上方落語をたっぷりほっこり楽しみました。落語の成り立ちや着物の着方、扇子や手ぬぐいなどの小道具の使い方などを紹介、その後、落語を披露して観客を魅了していました。安心院中学校の田中翠織（みおり）さんは「一人の人が何役もやっていてすごいと思いました」と感想を話しました。

12/7 宇佐神宮　破魔矢調製

## 祈りを込めた縁起物が完成！

宇佐神宮で破魔矢作りが行われました。破魔矢は厄除けや家内安全のご利益があるとされる縁起物で、この日は、３人の巫女が 70cm ほどの紅白の矢に辰の絵馬やつばきの花飾りなどを手作業で丁寧に取り付けていました。全６種類あり、１万本もの破魔矢が正月に向けて準備されるそうです。巫女の１人は「みなさまが幸せな１年を過ごせるようお祈りしながら作りました」と話しました。



12/23 お寺 de プラネタリウム

## 小部（こべ）遺跡からみた星空を今にみる

教覚寺で国指定文化財小部遺跡の星空をテーマにした、オリジナルプラネタリウムが開催されました。小部遺跡は教覚寺から 500m ほど北にある古墳時代の遺跡で豪族が暮らしたムラだと考えられています。八幡小学校の小松姫（ひめ）さん、小松夢（ゆめ）さん、原田結唯（ゆい）さん、黒岩佳歩（かほ）さんが 1800 年前の星空のナレーションをしました。来場者は、地元の考古学を地元小学生の解説とともにプラネタリウムで堪能していました。

12/14 「宇佐ゆず de 冬至ゆず湯の日」に向けて

## ゆず湯に入り一陽来復を願う

ＪＡおおいた院内出張所で、ゆず生産者らが「お家でゆず湯」のパック詰めを行いました。地元の温泉でゆず湯に親しんでいたことがきっかけで、院内のゆずを知ってもらい、多くの人に冬至にゆず湯を楽しんでほしいとの思いから活動が始まり、今回で９回目となりました。色良く香り高い２ＬとＬサイズのゆずをサイズ毎にネットに入れて、手際良くパックを完成させていました。